

平成 22 年 10 月 1 日

ライフサイエンス機器分析室ニュース No.106

停電に伴う施設利用一時停止のお知らせ

平成 22 年 10 月 17 日(日)8:30～17:00、霞構内全域が停電となります。つきましては、10 月 17 日(日)6:00～19:00 まで、生命科学機器分析部(ライフサイエンス機器分析室)に設置の全ての機器の利用を停止させていただきます。 また、以下に示しますように、いくつかの機器では停電に伴う留意点がございいますので、ご確認をお願いいたします。

平成 22 年 10 月 17 日(日) 6:00～19:00 停電のため施設利用停止

<その他留意点>

① CO2インキュベーター(114 号室・213 号室)

予備電源はとりませんので、培養の計画を立てておられる方はご注意ください。なお、停電後に庫内の掃除を行いますので 10 月 19 日(火)から利用を再開します。

②ディープフリーザー・薬用保冷庫

停電中は予備電源をとりますが、保存容量に限りがありますので、新規のご利用はお断りいたします。なお、この停電を機に庫内の整理を行います。持ち主が不明なサンプルは廃棄いたしますのでご了承ください。

③質量分析装置 QSTAR

再起動後に装置が安定するまで時間がかかるため、質量分析装置 QSTAR は 10 月 21 日(木)から利用を再開いたします(若干日時が変わる可能性があります、その場合はご連絡させていただきます)。

停電のため皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

自然科学研究支援開発センター
生命科学機器分析部(ライフサイエンス機器分析室)
霞総合研究棟 107 号室
担当 : 世羅 毅/林 陽子
内線 : 6877/5964 (082-257-5964)
e-mail: acols@hiroshima-u.ac.jp
HP: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記: 本施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記していただきたいと存じます(謝辞例文 This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Hiroshima University.) さらに、実績として役立たせていただくため、別冊 1 部(コピーでも可)を本施設にご提供いただければ幸いです。